

SAIDAIJI JC REPORT

恵

VOL. 1

2008年度理事長基本方針

第四十八代理事長 花島 功一



はじめに

「吉井川の恵を受け、自然と共生する、緑豊かな憩いと癒しのまちづくり」

私達(社)西大寺青年会議所は、ブルーエリア宣言文の二番目にこの文章をうたっております。

《吉井川の恵みを受ける》

あなたはこの一文に何を感ずるか。

私は、西大寺の核を感じます。

我がまち西大寺は吉井川の恵みのおかげで、江戸時代から大正時代・昭和初期の頃までは高瀬船が吉井川の津山・西大寺間の三十里を行き来し廻船の積み換え港として栄

えてきました。

今私達(社)西大寺青年会議所のメンバー一人ひとりが受けてきた恵(感謝)を愛すべきまち西大寺に返していけるような「運動」、そして個々の能力を引き出す様にリーダーシップを発揮して邁進していきたいと思えます。

会員拡大

青年会議所は40歳までという年齢制限があります。この年齢制限によって組織は常に若々しいエネルギーが保たれていますが、組織力を維持するためには新しい種、すなわち会員拡大が絶対的に必要となつていきます。ここ最近の我がメンバーは出席率もよく、いろいろな事業にも意欲的に参加しております。

これもひとえに西大寺を「元気なまち西大寺」と言われる様、そしてメンバー一人ひとりが目配りと思いやりをもって運動しているものと思えます。来年は23名スタートとなりますが、私個人としてはまずメ

ンバーが目が行き届くことができ、総勢30名を目標に頑張りたいと思えます。

青少年育成

いつの日から子ども達は、日常生活をおくるうえで必要最低限の倫理観が欠落し、ルールが守れなくなつたのでしょうか。私が子どもの頃は、親父は絶対的な存在であり、学校の先生方は、熱き気持ちで指導をしてくださり、時には、げんこつが飛んでくる事もありました。さらに、近所には、口うるさいおじさん・おばさんがいて、多くの方との係わり合いの中で、私が良い方向へ進むように道を正し、注意深く見守ってくれました。

しかし、最近の子ども達は、ゲームやインターネットそして携帯電話でのメールを中心に遊んでいきます。自然と触れ合う遊びや、人と人が直接向き合えるコミュニケーションの場が、少なくなり、心が成長しきっていない子どもが多くな

2008年度役員紹介

専務理事 石井 亮

っているのだと思います。

青少年による犯罪が多発してい

る昨今、少しでも心豊かで人にやさ

しい人間になってもらいたいと考

え、恵みあふれる吉井川にふれ、自

然と人間のあたたかさを知っても

らう機会として、私達、(社)西大

寺青年会議所は毎年『吉井川フェス

タ』を開催しています。

心たい心でまちづくり JCCづくり

私は、このような幸せなまち西大寺に生まれてきた事を感謝したい。

日本三大奇祭のひとつでもある

『会陽・はだかまつり』私達のまち

にはこんなすばらしい行事があり

ます。世の中の人々が混沌の情勢の

中、笑顔・活気が失われている今日、

西大寺では2月の第3土曜日は活

気にあふれかえっており、私達(社)

西大寺青年会議所のメンバーも他

の関係団体と協力して『会陽はだ

かまつり』の運営を行い盛り上げて

おります。そしてこの日は、参加し

ているみんなの心がつながりあう

ことが一番感じとれる至福の時です。

そんな会陽も平成22年には、会

陽500周年を向かえようとして

います。

心たい心で、

私は心たい心で向き合えばどん

なことでも叶うと信じております。

そう『会陽はだかまつり』を通じ

て心がつながることを感じとれる

ように...

そして頑張りましょう!!まちづ

くりJCCづくり

最後に

人と人とのつながりが希薄になっ

てきた世の中にとらわれることなく、

自分がこうだと決めたら最後までや

りとげる強い精神を今こうして同じ

志を持ったメンバーと一緒に心に刻

みたい。そして必ずや我が西大寺J

CCメンバーは、近い将来それぞれが

地域のリーダーとして活躍していけ

るよう共に力を合わせて頑張ってい

きたいと思っております。

直前理事長 岡田 康志



本年、直前理事長としてこの生活

最後の年を迎えることが出来まし

た。また昨年は理事長として、メン

バー・特別会員の皆様には大変お世

話になりました。これまで、JCCメ

ンバーとして続けてこられたこと

に感謝し、最後の1年間を精一杯J

CC運動に努めて行きたいと思っ

ております。

直前理事長として、花島理事長のサ

ポート役として、そして若いメンバ

ーに西大寺JCCの伝統を伝えて行

きたいと思っておりますので、1年

間よろしくお願いいたします。

専務理事 石井 亮



本年度は花島理事長のもと、専務

理事を務めさせていただきました。精

一杯理事長のサポートをしていき

たいと思っております。

また、総務担当として健全財政を

心がけて1年頑張っていきたいと

思っております。

現在、メンバーが24名、しかも半

数以上が3年未満ということで、昔

に比べ1人1人にかかってくる責

任も大きくなってきております。今

年は専務理事としてメンバーの縁

の下の力持ちになれるようがんば

りたいと思っておりますので1年

間よろしくお願いいたします。

副理事長 岡本 光生



新年明けましておめでとござ
います。本年度は副理事長をさせて
頂きます。また、地球市民委員会の
担当副理事長もさせて頂きます。6
年前から継続しています事業、吉井
川フェスタ2008の開催。定期的
に台風による影響で何度かフェス
タが中止したこともありましたが、
2006年、花島理事長が地球市民
委員長の時に台風による中止で苦
汁を舐めました。2007年では、
晴天にて開催。また、念願だった西
大寺の地(フェスタ会場)にて河口
の碑が設置されました。スタップー
同リベンジができて一安心しまし

た。本年度の地球市民委員会では吉
井川フェスタ2008の開催にあ
たってはテーマ・趣旨等の変更はあ
りませんが、プラス として「天災
に勝つ」を掲げていく所存でありま
す。どうか皆様、見守ってください。

副理事長 片岡 剛



新年明けましておめでとござ
います。

今年度は副理事長を務めること
になりました。担当委員会は、広報渉
外委員会及び親睦研修委員会です。

入会して以来考え続けてきたこと
は、「何の為の青年会議所運動なのか」
確かに奉仕、修練、友情という三信
条がありますが、結論として行き着
くところは「全て自分の為」でした。
これまでを省みて、果たして「自分の
為」になることを行ってきたのか。青年
会議所運動を隠れ蓑にして安易に自分の
欲求だけを満たしていたのではないのか。
私にとって今年が最後の青年会
議所運動の年となりました。自分な
りの解釈ですが「自分の為」の一年
を送りたいと思います。

副理事長 塩崎 鉄司



本年度、地球ふるさと委員会の担
当副理事長をさせて頂きたく
入会して3年程の私がこのよう
な大役をいただき、果たして務まるか
どうか不安もございいますが、執行部
と委員会をしっかりとつながるよ
う、頑張っていきたいと思いま
す。また、担当事業である「少年はだ
か祭り」が2月16日にありますの
で新年早々、あわただしい委員会と
なりますが、初めて理事となられた
小川委員長の思いが実現できま
すよう、委員会メンバーと一丸とな
り、共にサポートしていきたいと思
います。
何分、若輩者ではございますが、ど
うか1年間よろしくお願い致しま
す。

総務委員長 三枝 克守



本年度、総務委員会委員長を務めさせていただくことになりました。三枝克守です。

入会3年目の私に、総務委員長という大役をいただき、大変責任を感じております。

本年度は、12月1日より、公益法人制度改革への本格的取組みが始まります。私が出向する岡山プロジェクト協議会の組織進化支援委員会でも、メインの事業は公益法人制度改革となります。総務委員長として、会議の中で得た情報、学んだことを皆様に報告するという大切な仕

事があり、年間を通じて常に会議所の運営にも関わっていく委員会です。

皆様のお力をいただきながら、一杯務めさせていただきますので、1年間よろしくお願いいたします。

地球ふるさと委員長

小川 大志



この度、(社)西大寺青年会議所2008年度地球ふるさと委員会委員長を務めさせて頂くこととなりました。小川大志と申します。地球ふる

さと委員会では、「会陽」の当日に開催される「少年はだか祭り」を担当しています。回を重ね37回となるこの伝統行事「少年はだか祭り」

へ大勢のこども達に参加していただき、郷土愛の育成、心身の健全な発育、そして未来の明るく豊かな地域社会の担い手になってほしいという願いを込めて、委員会メンバー一同すでに全力で準備を進めています。初めての委員長ということもあり、どんなふうに委員会を行い、どういふ運動を行っていけば、まじや地域の人のためになるのかなどを考えていますが、今は「やる気と不安でいっぱい」というのが正直なところです。

活動の基本でもある「修練」「奉仕」「友情」をたくさん感じられる一年にできるよう、青年会議所の一員として、そして委員長として精一杯がんばりたいと思います。

地球市民委員長 長田 智宏



新年、明けましておめでとうございます。

本年度、地球市民委員会の委員長を務めさせて頂きます。長田智宏です。地球市民委員会と言えば、地域との交流を考える事業である『吉井川フエスタ』がメインになりますが、一年を通じて青年会議所メンバー皆様の協力無しでは成し得ない事業ばかりだと思っています。

また今年も、理事長の「スローガン【恵〜心たい心で〜】」の想いが地球市民にも深く関わっていると

っております。

今年の『吉井川フェスタ』は、昨年の問題点、反省点をふまえ「来年もフェスタにきたい」「今年のフェスタはおもしろかった」と思っていただけのようなフェスタにしたいと考えています。

しかしながら私を含め委員会メンバー全員が入会して三年未満なので、手探りの状況が多々ありご迷惑をお掛けすると思いますが皆様のご指導ご協力のほど宜しくお願い致します。

親睦研修委員長 坪井 綾広



二〇〇七年度は初の委員長を務めさせて頂き入会して以来、大きな楽しさを知った反面、大きな反省で終えた年でもありました。

二〇〇八年度は私にとって「チャレンジの年」であるように思います。親睦研修委員会は昨年とはまったく別の事業・目的を持っていますが、委員会が違おうとその重要性は不変であります。しかしながら私の意識が強く大きく変化しなければなりません。意識の変化がなければ自己の成長も事業としての発展も無い気がします。ただ、意識を変化さすと言っても難しい問題ではあります。ここが青年会議所の素晴らしいところで、事業の準備には仕事を割いて少ない時間で行う為、毎日JCに對しての意識を持たざるに出来ない状況が自然と生まれてまいります。最初の意識は「しなくてはならない」でしたが、だんだん楽しくなって来た今は「しよう」という意識に変わって来た気がします。

親睦研修委員会では新年祝賀会、

会員研修、懇親会、ボーイスカウト西大寺第四団との交流育成などの事業を行います。が、「しよう」という気持ちが必要なチャレンジ精神となり、自己の成長と事業発展への一助となる事を信じ、一年間頑張りたいと想います。

広報渉外委員長 中山 稔之



本年度の抱負(事業内容)といたしまして

- 1、当青年会議所活動をデジタルカメラで撮影し、広報誌発行を行い、当青年会議所の活動を一般の方々へ理解していただけるよう努める。
- 2、ホームページの管理・更新することにより、LOMメンバー及び一般市民の方々にもJC運動について深く知っていただく。

以上の2点があります。理事長より委員長にならないかと言われた時、この僕が委員長になつて良いのかな?という疑問がかなりありました。しかし理事長の西大寺青年会議所に対する思いを聞いていくうちに、委員長になることを決めました。とは言いつても入会して日の浅い僕にとっては、並大抵のことではありません。皆さんには迷惑をお掛けすると思いますがその都度ご指導いただき、またご協力のほどよろしくお願い致します。

新年、明けましておめでとございます。本年度、広報渉外委員会の委員長を務めさせて頂きます、中山稔之です。よろしくお願いたします。

岡山ブロック協議会委員長

松本 和生



新年明けましておめでとございます。
います。

岡山ブロック協議会に委員長として出向させていただきます。私の担当する委員会は、郷土の歴史検証委員会です。事業内容は、岡山の戦後復興の歴史について検証し、記録に残していくことです。ブロック内の多くの方のご協力を得なければ、進めていくことができない事業です。西大寺青年会議所の代表として送り出されているんだという強い気持ちで1年間頑張っていこうと思っています。また、幹事として、

井上君、尾田君、國本君の3人が手

伝つてくれています。この3人にブロック協議会に出てよかったと思つてもらい、今後の青年会議所運動をさらに盛り上げていこうというモチベーションを高めていただきたいと考えています。

予定者段階から、3ヶ月経ち、厳しい1年になると覚悟しています。が、精一杯職務を果たそうと考えていますので、皆様のご支援をよろしくお願いします。

監事 片岡 直孝



新年明けましておめでとございます。
います。

本年度監事を務めさせていただくこととなりました。

なにぶん私自身が経験年数も少なく、解つてないことも多いのですがそれはそれ、役目は役目ということ。私の出来る限りの力でもって西大寺J.C.に貢献したいと思っております。

私自身最終年度ということで、1年間精一杯J.C.運動に励み、楽しみたいと思っておりますので、1年間どうぞ宜しくお願いします。

外部監事 中村 千晃

新年明けましておめでとございます。
ます。

昨年は、16年間のJ.C.生活を無事に卒業する事ができありがとうございました。100%例会での卒業式感動しました。改めて御礼申し

上げます。また昨年は、直前理事

長・岡山ブロック監事として充実した1年を過ごすことが出来ました。OBではあります。外部監事として16年間、先輩達から教えていただいたことを少しでもメンバーに教えていくためになる講評をしたいと思います。スローガン 恵み心でを基に1年間どうぞよろしく申し上げます。

1月例会



1月9日、岡山商工会議所西大寺支所にて2008年度最初となる1月例会が開催されました。

花島理事長の基本方針などの発表に続き、各委員会が本年度の事業紹介・目標を発表しました。

また、新入会員3名 藤原辰徳君・一井暁子君・宗石幸治君の入会式も行われました。

新年の門出にふさわしい緊張感のある例会となったと思います。

新年祝賀会



1月11日、西大寺グランドホテルにて社団法人西大寺青年会議所2008年度新年祝賀会が開催されました。

石井正弘岡山県知事をはじめとする来賓の皆様、友好のの皆様、特別会員の皆様にご出席いただきました。

多数の来賓を前に緊張の花島理事長の挨拶、皆様からの挨拶に明るい豊かな地域社会の実現へ向け、決

意を新たにすることができました。また、新入会員の挨拶では、緊張しながらも自分の気持ちを表現でき、先輩方に負けぬようがんばっていきこうと、それぞれが意気込んでいました。会を通じ新年にふさわしい厳粛ですがすがしい雰囲気のうちに行進し、乾杯の後は、和やかに来場の皆様との親睦を深めることができました。

発行日：平成20年1月21日
発行責任者：花島 功一
編集責任者：中山 稔之
発行所：社団法人
西大寺青年会議所

行事予定	
2月13日	2月例会
2月16日	少年はだか祭り会陽
3月12日	3月例会